

地方創生推進交付金実績評価シート

事業名	「住みたいまち石井」創生プロジェクト				
主な事業内容	<p>・空き家等の所有者に対し、現在の利用状況や今後の予定、移住希望者や創業希望者への住宅ストックとして利活用すること等に対する意向調査をアンケート形式で行った。 【調査対象者:467名 回答者:263名(回答率:56.32%) 実施期間:H29.6月~7月】 回答結果の集計・分析結果を石井町空家等対策協議会にて報告し、所有者のニーズに合った空き家対策事業の検討・協議を行った。</p> <p>・空き家バンクの開設について、当初の事業計画では石井町独自で空き家バンクサイトを開発・設置することとしていたが、外部からの検索にヒットしやすい情報網の広さと、サイトの開発や維持管理に必要な経費を抑えられることから、民間の大手宅建事業者が国のモデル事業認定を受けて開設・運営を行う「全国版空き家バンク」を活用することとしたため、平成29年11月にサイトの整備が完了し、これに続いて空き家所有者へのダイレクトメールによる空き家バンク登録希望者の募集を行った。 また、空き家バンクの管理専用パソコンを購入した。</p> <p>・地域住民、学識経験者及び専門家が参画する空家等対策協議会を二回開催し、空き家対策事業に関する検討・協議を行った。 【協議会開催日:H29.6.8 H30.2.23】</p> <p>・空き家対策の啓発用パンフレットを1,000部作成した。役場や公民館等の公共施設に設置したほか、空き家に関する相談時に配布した。</p> <p>・空き家対策事業の一層の推進を図るため、官学連携協定に基づき相互協力関係にある四国大学に『空き家の存在と地域の社会経済との関連性の解明』をテーマに研究委託を行い、石井町における空き家の現状分析及び社会経済状況との因果性からアプローチすべき本町の課題等について四国大学からの提言を受け、空き家対策事業の検討課題とした。</p>				
総予算額	5,116千円	決算額	1,247,689円	国費充当額	623,844円
事業始期	H29.4		事業終期	H30.3	
KPI	【空家を活用して移住した世帯数】 3件 【空家バンク登録件数】 5件 【空家住宅の活用件数】 7件		担当課	総合政策課	
	指標値	目標年月	実績値	計測時期	
	【空家を活用して移住した世帯数】 【空家バンク登録件数】 【空家住宅の活用件数】	H30.3	11件 0件 15件	H30.3	
総合評価	自己	評価指標	自己評価の理由		
	○	事業内容は適切である。	KPIの実績について、空家を活用して移住した世帯数は11件で計画値を達成した。		
		課題が少しあり、事業の一部見直しが必要	空家バンク登録件数は0件で計画値を達成しなかった。これは平成29年度当初ではバンクの独自開発及び設置を計画していたが、バンク運用効果の向上及び設置及び運用に要するコストを抑える目的で、国土交通省のモデル事業である大手宅建事業者が開設・運営を行う全国版空き家バンクに参加する方式へと計画変更したため、バンクの整備完了及び登録希望者の募集が事業年度後半へスライドしたことが原因である。ただし、これに関しては今後の空き家バンクの運用効果の向上と管理コストを抑える効果を見据えての判断であるため、事業内容は適切であったと考えている。		
		課題が多く、事業やKPIの大幅な見直しが必要	空家住宅の活用件数については15件で、計画値を達成した。		
		事業の休・廃止を含めた検討が必要			



石井町空き家等対策協議会



全国版空き家バンクのトップ画面



石井町空き家パンフレット

外部評価委員からの意見

※地方創生推進交付金(「住みたいまち石井」創生プロジェクト)

- ・現在の空き家バンクは住居から住居に限っているようだが、街づくりに空き家を活用するのであれば、住居から店舗、また納屋から住居のように用途を変えて活用ができればいいのではないか。
- ・空き家がある立地にもよるが、商売に転用すれば上手くいく立地であれば、石井町で起業を考えている方が活用できるかもしれない。柔軟に既存ストックの利活用ができればいいと思う。
- ・空き家バンクは登録をするだけなので、「どうぞ見てください。」と受け身になる。バンクへの登録が遅れたという事でまだ十分に活用できてないように思う。しかし、空家等対策協議会では活発な意見が出て事業は進んでいる。移住の11件や空家住宅の活用の15件がどうやって結び付いたかななどを周知できれば、もっと事業が進んでいくのではないだろうか。
- ・空家等対策協議会では利活用の話だけでなく、老朽危険空き家の除却についても話が出ており、こちらについても着実に事業が進んでいる。
- ・「移住希望者」や「創業希望者」へという目的があるようなので、人口増以外にも産業の方で活用できたらいいのではないか。
- ・石井町も面積が限られているので、どういう所を宅地として確保するのか、また一方で農地も確保しなければならない。徳島市と特急列車で10分の立地で非常に利便性の高い通勤圏である。いろいろな相互的というか、施策が組み合わせあった事業に発展していけばいいと思う。